

滋賀県文化スポーツ部文化財保護課

文化財保護技術職業業務案内

◆文化財を未来の人に伝える仕事

文化財を未来の人たちに伝える。当然のことではありませんが、それは簡単なことではありません。多くの人々が、それぞれの役割や技術でつながり、一つの目的に向かって協力しなければ、文化財は残せません。そして、その全体を見通し、コーディネートするのが文化財保護技術職（文化財技師）の仕事です。

具体的に見てみましょう。内容は大きく3つ。「調べる」、「守る」、「活かす」。

「調べる」。文化財がどんな素材や技術でできているのか、どのような状態にあるのか、どのように行われているのか。有形の特徴や無形の内容について、専門的・学術的な価値を明らかにするとともに、地域でどのように守り伝えられてきたのか、地域の人たちがどのような思いを持っているのか、どのような役割があるのか、社会的な内容も十分に調べる必要があります。

「守る」。修理や補強は必要なのか、そのためには、どのような技術が必要なのか、特別な環境を整える必要があ

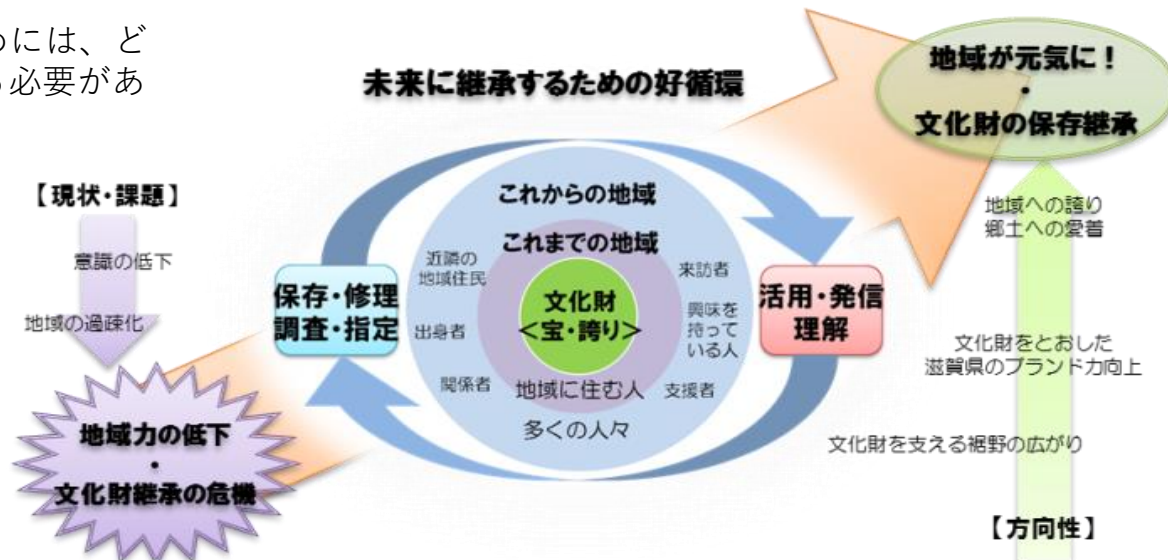
るのか。地域への支援が必要か。どのように担い手を育てるのか。どのような記録を作るのか。ここでは、守るために適切な、人、素材、技術、方法を見出し、これを実践することになります。

最後が「活かす」。地域の伝統として活かすのか、教育の中で活かすのか、記録として活かすのか。また、観光や産業の中で活かすことも考えていく時代となりました。そのために、より多くの人たちに文化財の魅力を知っていただくことが必要です。

文化財を軸として、伝統的な技術、最新の科学技術、地元の人々、子どもたち、専門家の先生、地域外から訪ねてきた人々、それを一つに結びつける。それが文化財技師の仕事です。それは、30,000年前から遠く未来まで、滋賀から世界へ、時空を結びつける魅力溢れる仕事です。



文化財を未来に伝えるための人の輪を広げる取組



滋賀県文化財保存活用大綱掲載の模式図

◆ 滋賀県の文化財の魅力

■ 全国屈指の文化財保有県

【有形文化財】

重要文化財件数 **全国 4 位**

(建造物 **全国 3 位** /

彫刻 **全国 3 位** / 国宝 **全国 5 位**)



重要文化財の大日如来像は全国で一番多い▲
(展覧会でギャラリートークをする学芸員)

【記念物】

名勝 **全国 2 位**

特別史跡の城跡 2 件 (彦根城跡、安土城跡)

【文化的景観】

重要文化的景観 **全国 2 位**

(「近江八幡の水郷」が**全国第 1 号**) ▶



【埋蔵文化財】

水中遺跡数 **全国 2 位**

約 4,600 か所の埋蔵文化財包蔵地が県内全域に所在

・ 単位面積当たり城郭数 **全国 1 位**

・ 指定文化財等件数 計**3,565**件

(国**1,456**件、県**523**件、市町**1,586**件)

※国・県は令和 5 年
10 月 18 日時点、
市町は 5 月 1 日時点

・ 各分野で様々な時代の多くの文化財がある。

・ 県内全域に分布。

全ての市町に国、県、市町指定文化財が存在。

■ さまざまな文化財に登録・認定

【世界文化遺産】

- ・ 「比叡山延暦寺」 (『古都京都の文化財(京都市・宇治市・大津市)』)
- ・ 世界遺産登録をめざす『彦根城』 (現在暫定リスト記載)

【ユネスコ無形文化遺産】

- ・ 『山・鉾・屋台行事』の「長浜曳山祭」「大津祭」
- ・ 『風流踊』の「近江湖南のサンヤレ踊り」
「近江のケンケト祭り長刀振り」

【ユネスコ世界の記憶】

- ・ 『朝鮮通信使に関する記録』
- ・ 『智証大師円珍関係文書典籍－日本・中国の文化交流史』

【日本遺産】

- ・ 「琵琶湖とその水辺景観－祈りと暮らしの水遺産－」 (認定第 1 号)
- ・ 「忍びの里 伊賀・甲賀－リアル忍者を求めて－」
- ・ 「きっと恋する六古窯－日本生まれ日本育ちのやきもの産地」
- ・ 「1300年つづく日本の終活の旅－西国三十三所観音巡礼－」
- ・ 「海を越えた鉄道－世界へつながる鉄道のキセキ－」
- ・ 「京都と大津を繋ぐ希望の水路琵琶湖疏水
～舟に乗り、歩いて触れる明治のひとつとき」

滋賀県の重点施策にも位置付けられています！ (R6年度)

【守る】

【活かす】

【支える】

- ・ 保存修理
- ・ 県指定文化財の新指定
- ・ 「彦根城」世界遺産登録推進事業
- ・ 「幻の安土城」復元プロジェクト事業
- ・ 「近江の城」魅力発信事業
- ・ 琵琶湖に眠る水中遺跡魅力発掘・発信事業
- ・ 文化財を支える人づくり
- ・ 文化財の保存・活用・発信拠点の整備

◆ 滋賀県文化財保護課について

組織（文化財技師が所属している係・室）

- ① 建造物第一係 ② 建造物第二係
- ③ 美術工芸・民俗係 ④ 記念物・埋蔵文化財係
- ⑤ 安土城・城郭調査係
- ⑥ 文化財活用推進・新文化館開設準備室（琵琶湖文化館）
- ⑦ 彦根城世界遺産登録推進室
- （その他）文化財保護協会／安土城考古博物館 等

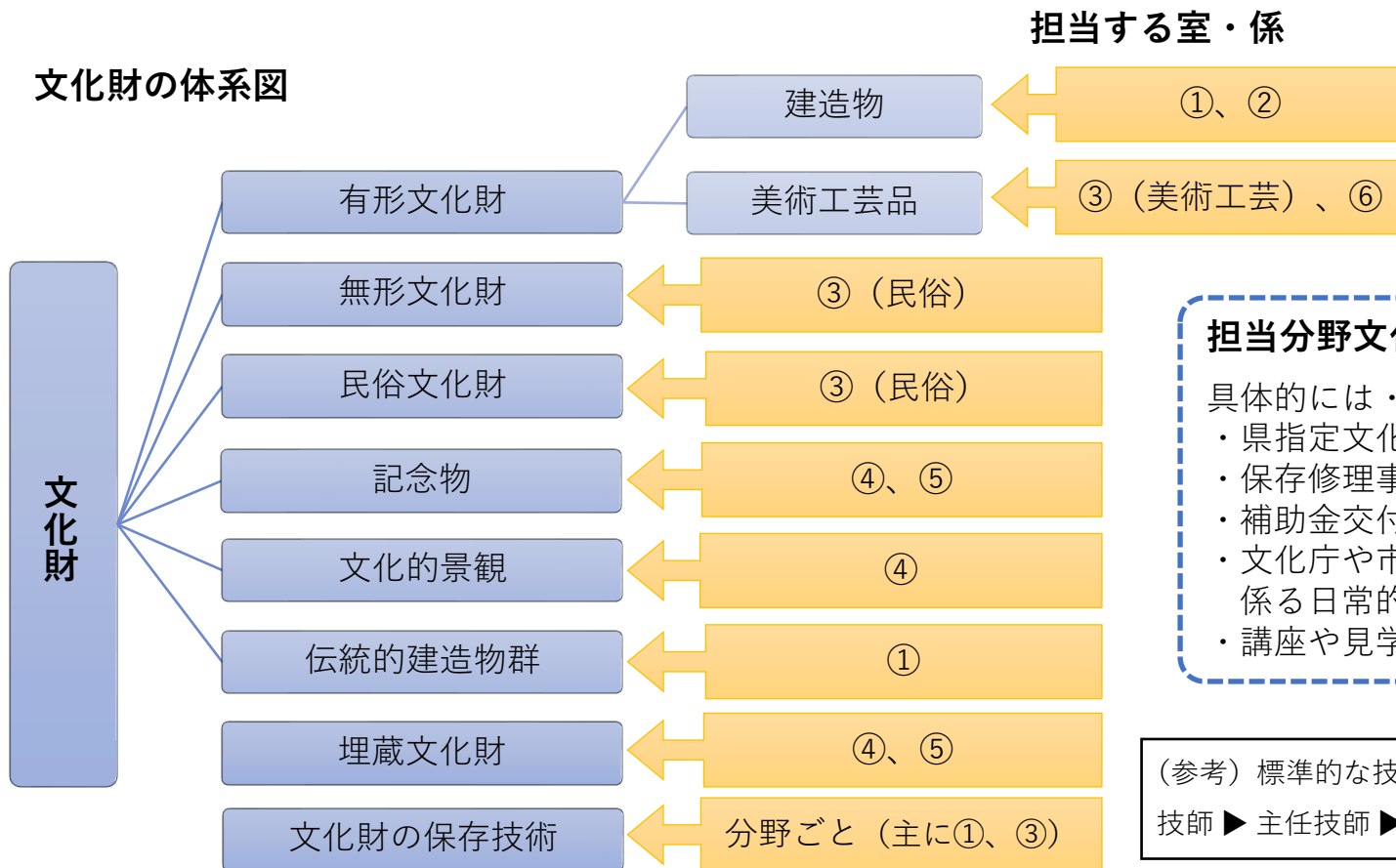
文化財技師の構成

（後ろのカッコは、文化財保護課で配属される係・室）

- ◆ 建造物 11名 (①②)
- ◆ 埋蔵文化財 18名 (④⑤⑥⑦他)
- ◆ 美術工芸系 3名 (③⑤)
- ◆ 民俗 1名 (③)
- ◆ 琵琶湖文化館学芸員 . . . 4名 (⑥)

(R6. 4. 1現在)

文化財の体系図



※技師職員だけでなく、行政職員も一緒に働いています。

担当分野文化財の保存と活用を行います。

- 具体的には . . .
- ・ 県指定文化財の指定などに係る調査
 - ・ 保存修理事業等の計画・実施
 - ・ 補助金交付事務
 - ・ 文化庁や市町と連携した、保存と継承に係る日常的な相談受付とアドバイス
 - ・ 講座や見学会などの発信事業 など

（参考）標準的な技師ステップアップ

技師 ▶ 主任技師 ▶ 主査 ▶ 副主幹 ▶ 主幹 ▶ 課長補佐 . . .

◆ 建造物技師の仕事

※所属・職階は令和5年度のものです

■ 主な仕事内容

- 建造物保存修理
 - ・受託事業の修理設計と工事監理
 - ・き損した建造物の修理指導
- 建造物の調査・指定
- 防災に関する事務、耐震対策に関する技術指導
- 登録有形文化財、伝建地区に関する事務
- 現場見学会の実施など文化財の啓発・活用 など

■ 最近のトピックス

○ビッグプロジェクト 延暦寺根本中堂・廻廊 大改修！

- ・根本中堂：大部分の銅板屋根葺替と外壁赤色塗装が完了(2024年1月)
 - ・廻廊：とち葺屋根の大部分の葺替が完了(2023年11月)
 - ・啓発・活用：保存修理紹介動画を更新(2023年3月)
修理現場見学会を開催(2023年12月)
- 「修学ステージ」から、大改修の様子を間近に見学できます！
- 指定・登録
 - ・重要文化財：外村家住宅 (2022年12月)
 - ・県指定文化財：弘誓寺本堂 (2023年3月)
 - ・国登録有形文化財：明楽寺本堂ほか5棟(2023年8月)
⇒県内の登録数が500棟に！
 - 保存修理
 - ・聖衆来迎寺：保存修理(屋根葺替)事業が完了(2023年6月)
 - ・不動寺本堂：腐朽した屋根葺材の解体開始(2023年9月)

■ 資格、技能など

主な学部・学科：建築学科など
在席職員が保有している免許・資格の一例（必須ではありません）：普通自動車運転免許、一級建築士、二級建築士
技能：実測の経験があると役に立ちます。

■ 先輩職員の声



建造物第二係
佐々木 技師

◆ 主な担当業務

- ・文化財建造物保存修理事業
担当：延暦寺根本中堂・廻廊

◆ 仕事の面白さ

根本中堂では屋根、塗装、木工、金具などの修理工事があります。建物が日々変わっていく様子や、各工事の職人さんに伝統工法を教えてもらい、技師として力をつけていく実感ができることが楽しいです。また、根本中堂は細かな部分にじっくりと向き合っ初めて新たな特徴を見せてくれるため、その奥深さに驚くとともに、それらの特徴から建物の歴史を先輩方と考察することが面白いです。

Message

古い建物が多く見える車窓の風景や、地域によって様々なつくりの建物が見られることは滋賀県の特徴だと思います。滋賀県の豊かな自然、歴史、文化とともに残る素晴らしい建造物を、一緒に未来に残していきたいと思います。

写真：延暦寺根本中堂(国宝)の子ども向け現場見学会

◆なぜ滋賀県職員に？

県外から滋賀県に来ました。歴史的建造物に関わる仕事がしたいと思っており、特に文化財保存修理に関心がありました。滋賀県は文化財行政と保存修理を行っており、文化財への様々な関わり方ができると思ったからです。

◆印象に残っている業務は？

延暦寺根本中堂の保存修理全般です。全国の中でも規模の大きい事業が初めての現場となり、状況を把握することさえ大変な中で、修理設計、部材の調査、建物の実測、工事記録撮影、情報発信など目まぐるしい日々を送っています。



建造物第一係
藤原 技師

◆ 主な担当業務

- ・指定文化財管理事業
- ・登録有形文化財 など

◆ 将来の目標

文化財修理の現場に数多く携わり、後世に県内の素晴らしい文化財を保存、継承していくことです。また、多くの方に文化財というものに興味、関心を持っていただけるよう努めていきたいです。

Message

滋賀県は文化財の宝庫です。特に中世の文化財が多く、他にはない魅力があります。この恵まれた環境でぜひ一緒に働きましょう！

写真：三井寺一切経蔵(重要文化財)の調査

◆なぜ滋賀県職員に？

文化財修理に携わることに憧れており、中世から近代まで幅広い文化財を有する滋賀県に魅力を感じたからです。

◆印象に残っている業務は？

愛荘町の金剛輪寺二天門の保存修理の担当業務です。私にとって初めての保存修理の担当でした。実際に修理というものを目の前にして、日々変容していく様子に感動を覚え、少しだけですが文化財修理に携われて嬉しかったのを覚えています。

◆ 埋蔵文化財技師の仕事

※所属・職階は令和5年度のものです

■ 主な仕事内容

県有史跡地の維持管理（紫香楽宮跡、近江大津京錦織遺跡、近江国庁跡、大中の湖南遺跡、春日山古墳群）

記念物・埋蔵文化財係：記念物（史跡、名勝、天然記念物）・文化的景観の保存と活用に関する業務、市町の文化財保存活用地域計画の策定サポート、埋蔵文化財の把握・周知・調整に関する業務、試掘・確認調査に関する業務、埋蔵文化財センターの機能強化の検討

安土城・城郭調査係：安土城の発掘調査・見える化（アプリ制作、安土城考古博物館リニューアル(2025年春)）、城郭に関するイベント（講座、探訪）の開催 など

実像解明のための数十年振り、
20年計画の発掘調査！

■ 最近のトピックス

- 特別史跡安土城跡で令和の大調査開始！（2023年10月～）
2023年度は天主台周辺地区を発掘（現地説明会など）
- 2024年は葛籠尾崎湖底遺跡発見100年！（2024年度～）
「琵琶湖の水中遺跡魅力発掘・発信事業」開始！
- 春日北窯跡が滋賀県指定史跡に指定！（2024年3月）
- 令和5年度「滋賀県発掘調査成果報告会」開催（安土城跡、滋賀県埋蔵文化財センター発掘調査等）（2024年3月）
- 「安土山図屏風」探索のためにバチカンに訪問し、文化交流の礎づくり（2023年5月）

■ 必要な資格、技能など

主な学部・学科：文学部、人文学部など
文化財学科、文化遺産学科、歴史学科、史学科 など

必要な資格：学芸員資格

在席職員が保有している免許・資格の一例（必須ではありません）：普通自動車運転免許、教員免許、潜水士

技能：発掘調査の実務経験があると役に立ちます。

■ 先輩職員の声



Message

滋賀県には様々な文化財が所在しており、どの文化財も違った個性を見せてくれます。一緒に滋賀の文化財の魅力を探しませんか？

記念物係

内藤 主任技師

写真：発掘現場での説明

◆ 主な担当業務

記念物（史跡・名勝・天然記念物）、重要文化的景観の保存活用・整備・保存修理等に関すること、水中遺跡に関すること

◆ 仕事の面白さ

分野を超えて多種多様な文化財に携われることです。全国に知り合いもたくさんできますよ。



Message

滋賀県には全国的にも歴史上重要な遺跡が多いです。そんな遺跡を後世に守り伝えるために一緒に頑張りましょう。

埋蔵文化財係

佐藤 技師

写真：まいぶん祭

◆ 主な担当業務

開発調整
埋蔵文化財発掘調査（試掘調査）

◆ 仕事の面白さ

試掘調査では、多くの場合今まで調査されていない地点を自分が初めて発掘します。自分自身が遺構・遺物の有無を見極める最前線にいるため業務に対する緊張感は大いですが、その分確認できた時の喜びもひとしおです。



Message

滋賀県には多くの文化財が残されています。一緒に滋賀県の歴史を未来につないでいきましょう！

安土城・城郭調査係

松田 技師

◆ 主な担当業務

特別史跡安土城跡の調査整備事業

◆ 仕事の面白さ

仕事を通じて歴史にふれられることです！

写真：安土城発掘調査現地説明会

◆ なぜ滋賀県職員に？

滋賀県出身で、歴史に興味を持つきっかけをくれた滋賀県の文化財の保存に携わる仕事がしたいと思ったからです。

◆ 印象に残っている業務は？

高校の授業の一環で、滋賀県指定史跡「禾津頓宮跡」の紹介をしたことです。今は何もないように見える場所にかつて何があったのかをどうやって示すか、伝え方の勉強になりました。

◆ なぜ滋賀県職員に？

大学で考古学を専攻しており、学びのフィールドが滋賀県でした。研究を進めるほどに滋賀県に所在する様々な遺跡の魅力に気づき、大学卒業後も滋賀県の遺跡に関わる仕事がしたいと考えました。

◆ 印象に残っている業務は？

一般の方向けに土器の観察会を開催したことです。遺跡から出土した縄文土器や弥生土器等の遺物に触れてもらいましたが、一般の展示では分からない土器の質感や重さに感動してもらいました。

◆ なぜ滋賀県職員に？

学生時代に学んだ知識や技術で、地元である滋賀県に貢献したいと思ったからです。

◆ 印象に残っている業務は？

特別史跡安土城跡での発掘調査です。安土城は滋賀県だけでなく日本においても重要な歴史の舞台であり、その調査に携われることにやりがいを感じています！

◆ 美術工芸技師／民俗文化財技師の仕事

※所属・職階は令和5年度のものです

■ 主な仕事内容

担当分野：美術工芸品（絵画、彫刻、工芸品、書跡典籍・古文書、考古資料、歴史資料）、民俗文化財（有形・無形＝祭礼行事、生活文化等）、無形文化財（工芸技術・芸能等）

仕事内容：担当分野文化財の保存と活用、および保護に必要な文化財保存技術の伝承にかかる事業と事務。

銃砲刀剣類の登録事務、博物館での文化財公開等にかかる許認可事務、文化財講座（「花湖さんの打出のコヅチ」など）の実施による一般向けの発信事業 など

■ 最近のトピックス

滋賀県のソウルフード
が国の文化財に！

- 登録無形民俗文化財に登録！（2023年3月）
『近江のなれずし製造技術』。PR冊子も作成しました。
- 重要文化財（美術工芸品/書跡・典籍の部）の新指定！
『元版一切経』（園城寺所蔵の中国元時代経典）（2024年3月）
- ユネスコ「世界の記憶」に登録！（2023年5月）
『智証大師円珍関係文書典籍－日本・中国の文化交流史』（園城寺所蔵の国宝古文書）
- ユネスコ無形文化遺産に登録！（2022年11月）
『風流踊』の「近江湖南のサンヤレ踊り」、「近江のケンケト祭り長刀振り」。登録記念講演会も開催しました。
- 重要無形文化財保持者「木工芸」認定！（2023年7月）
いわゆる人間国宝。工芸技術分野では滋賀県初！

■ 必要な資格、技能など

主な学部・学科：文学部、芸術学部など／史学科、美術史学科、文化財学科、文化遺産学科、社会学科、哲学科 など

必要な資格：学芸員資格

在席職員が保有している免許・資格の一例（必須ではありません）：普通自動車運転免許、中学校高等学校社会・国語教員免許、エックス線作業主任者免許

■ 先輩職員の声



Message

文化財や歴史が好きで、滋賀県らしい文化を未来へ伝えたいと思う熱意ある人と、ぜひ一緒に仕事がしたいです。

美術工芸・民俗係

井上 課長補佐（美術工芸）

◆ 主な担当業務

美術工芸品の保存活用
＝調査、指定、修理、相談、展示、説明、発信 など

◆ 仕事の面白さ

文化財そのものに自分の手で触れて、自ら評価し、守っていくという一連の仕組みを、仲間や外部有識者とともに作り上げる「手作り感」が面白い。博物館・美術館の学芸員では経験できない「県庁ならでは」の仕事も多い。責任が重くスピード感もあって大変な部分もありますが、充実した毎日を過ごせます。

写真：2020年滋賀県広報動画出演
※この年の大河ドラマ「麒麟がくる」の主人公は明智光秀でした。

◆ なぜ滋賀県職員に？

栗東歴史民俗博物館学芸員からのコンバート！
前職時代から、県全体をフィールドに仕事をしたいと考えていました。

◆ 印象に残っている業務は？

秘仏や神像の撮影、古經典の合宿調査、最澄・円珍・戦国武将ら近江ゆかりの人々にかかる古文書の調査、大河ドラマのシナリオハンティング同行などなど。



Message

毎日いろんなことがあります。長期的な視点を持って仕事ができますよ。

美術工芸・民俗係

矢田 副主幹（民俗）

◆ 主な担当業務

無形文化財・民俗文化財の保護
＝調査、指定、修理、相談、展示、説明、発信 など

◆ 仕事の面白さ

県内を中心に全国各地を訪ね、そこに暮らす皆様から地域に伝わる有形無形のさまざまな文化について教えていただきます。日本文化の奥深さを体験することができます。

写真：文化財講座（多羅尾の祇園祭・花奪い）

◆ なぜ滋賀県職員に？

ご縁があってまいりました。滋賀県は民俗文化が豊かなところ。ここをフィールドに仕事ができるとやりがいもあると思い転職してきました。

◆ 印象に残っている業務は？

九州国立博物館でキャプティフの中に入って、ひこにゃんと共演したことです。



◆琵琶湖文化館学芸員の仕事

※所属・職階は令和5年度のものです

■ 主な仕事内容

- 琵琶湖文化館における文化財の調査研究・保存管理・展示公開
 - ・琵琶湖文化館の収蔵品を活用し、県内各地の博物館や社寺を会場とした地域連携企画展を年数回開催（企画・実施）
- 新しい琵琶湖文化館の検討・機運醸成
- 文化財の活用事業・情報発信



など

■ 最近のトピックス

- 新しい琵琶湖文化館の整備事業の契約を締結（2023年10月）
※民間と連携して建設・運営する新たな方式で取り組んでいます。



2027年度開館(予定)【場所/浜大津、設計/隈研吾事務所等】

- 令和5年度琵琶湖文化館地域連携企画展
 - ・4/1～10 新発見の経典を特別初公開！（近江八幡市・長光寺）【担当：井上課長補佐（古文書）】
 - ・10/7～11/19 千年の秘仏と近江の情景（県立美術館）【担当：和澄主査（彫刻）】
 - ・11/3～11/12 成菩提院 寺宝展（米原市・成菩提院）【担当：田澤主任技師】
 - ・2/10～4/7 近江の文化財を継ぐ一修理・複製・復元一（県立安土城考古博物館）【担当：岩崎主任技師】

■ 必要な資格、技能など

- 主な学部・学科：**文学部、芸術学部など
史学科、美術史学科、文化財学科、文化遺産学科 など
- 必要な資格：**学芸員資格
- 技能：**文化財輸送用のバンを運転するので、運転に習熟していることが望ましいです。

■ 先輩職員の声



文化財活用推進・新文化館開設準備室

田澤 主任技師

◆主な担当業務

工芸担当
その他、文化財の情報発信など

◆将来の目標

滋賀県のすべての子どもたちに新しい文化館に来ていただくこと。そして、大人になって滋賀県を離れたとしても文化館のことを思い出していただけ、自分の子どもと一緒に再来館いただけるようになること。

Message

現在の文化館は常に琵琶湖を感じながら働くことができる、唯一無二のすばらしい職場です。新しい文化館もすばらしい職場になるように、一緒に作っていきませんか？



文化財活用推進・新文化館開設準備室

岩崎 主任技師

◆主な担当業務

保存科学担当
・収蔵環境・収蔵品管理業務
・新文化館準備室業務 など

◆将来の目標

新文化館の機能の一つ「地域文化財のサポートセンター」としての役割を充実させたいです。県内各地の文化財の守り手となる人達や県内の文化財を保管している施設の方々と直接関わり、共に問題解決していけるような体制を築いていきたいです。

写真：文化財を紹介するワークショップ

写真：地域連携企画展の展示準備作業

◆なぜ滋賀県職員に？

学芸員としての経験を生かしつつより発展的な仕事がしたい思い、新しい博物館を作る計画がありそこを中心として採用試験を受けていたところ、自分の専門と近い文化館の募集を見つけ、すぐに応募しました。

◆印象に残っている業務は？

新しい文化館ができたならどんな未来になるだろうか？と考えながら、小説風の企画書を書いて関係者と共有したこと（半分趣味です）

◆なぜ滋賀県職員に？

滋賀県の文化や歴史に魅力を感じ、そんな滋賀県で新たな博物館の設計に携わり、より良い保存・展示環境の博物館づくりに貢献できる貴重な機会だと思ったからです。

◆印象に残っている業務は？

文化財の「保存」に焦点を当てた展示を担当したことです。休館中の琵琶湖文化館ですが、県内の施設と連携し、収蔵品公開の機会を設けています。保存の仕事は、博物館の裏方の仕事と思われがちなので、どのように保存の大切さを伝えれば良いか、沢山悩んだので印象に残っています。